

# Install Guide

## 水温メーター取付け作業例

作業例：NEW スイフト

【参考作業時間：30分（センサー取付けのみ）】

<b>1</b> 	<b>冷却水の抜き取り</b> ラジエーターキャップを取り外し、ラジエーターのドレンコックを緩めて、冷却水を抜きます。 ※冷却水が熱いうちは、危険なので（火傷、冷却水の噴き出し等）冷えてから作業します。	<b>5</b> 	<b>水温センサーの取り付け</b> 漏れ防止のため、液体ガスケット、もしくはシールテープを使用して、センサーを取り付けます。 ※センサーはテーパネジですので締め過ぎに注意します。
<b>2</b> 	<b>ラジエーターホースの加工</b> ラジエーターホース・アッパーホースを取り外します。	<b>6</b> 	<b>ラジエーターホース・アッパーホースを車両に取り付けます。</b>
<b>3</b> 	<b>水温センサーアダプターの取り付け</b> アダプターを取り付ける、おおよその位置を決め、ホースを切断します。 ※アッパーホースの切断面は、センサーアダプターと密着するように整えます。	<b>7</b> 	<b>バルクヘッドにある、配線用ブーツに切り込みを入れて、センサーハーネスを車内に引き込みます。</b>
<b>4</b> 	<b>アダプターを取り付け、ホースバンドで締め付けます。</b>	<b>8</b> 	<b>冷却水の補充</b> 抜いたクーラント液を、車両に戻して、エア抜きを行います。 エア抜き作業は、整備書を参考に、厳重に行ってください。

### アドバイス

- ・アッパーホースを車体から取り外す際と、切断する際は、ホースの向きが後でわかるように印をつけると、取付けミスを防ぐことができます。
- ・ホース切断位置、アダプターの向きは、車両に装着した状態で各部への干渉がないことを確認してから、決定してください。

### ⚠ 本ガイドご利用上の注意

本ガイドは、装着・交換作業の手順を大まかに案内するものです。

実際の作業時は、取付説明書やサービスマニュアルに従い作業を行ってください。

●本ガイドをもとに行った作業で生じた破損や傷害等の事故について、当社では一切の責を負いません。

●道路運送車両法で定められる分解整備に当たる作業については運輸局の認証工場で実施し、分解整備検査を受ける必要があります。